

産業建設

町内道路路線調査を実施
県への要望活動に繋げる

本委員会は、黒潮町水道事業

議論がありました。相談員を

の給水に関する条例の一部を

置くこと、報酬を出すことには

改正する条例、平成二十年度黒

異議はありませんでした。町長

潮町一般会計補正予算、平成二

が特定の方を絞って提案する

十一年度黒潮町一般会計予算、

ことに疑義を唱える委員も出

平成二十一年度黒潮町農業集

ましたが、職務に適した人材を

落排水事業特別会計予算、平成

選任していただくよう申し入

二十一年度黒潮町漁業集落排

れをしました。

水事業特別会計予算、平成二十

業、漁業集落排水事業では、出

計予算、黒潮町水産関係等共同

口地区より二戸の新規加入を

作業所に係る指定管理者の指

見込んでいましたが、現在の、

定、黒潮町道路線認定について

加入戸数は、出口で六十七戸、

の議案審査を行いました。

昨年度六十八戸で加入率50%。

水道事業の給水に関する条

蜷川では、六十三戸、昨年度六

例改正は、旧大方町と旧佐賀町

十七戸で加入69.1%。鈴地区は、

の水道料の統一をするもので、

全五十一戸中、二十二戸の加入

料金は佐賀地区が上がり、大方

で、加入率37.5%でした。加入戸

地区は下がるが、基本料金の見

数が下がっているのは、長期に

直して、少量使用者への配慮な

入院している方がいるためや、

ど盛り込んだものとなってい

地域の高齢化などによるもの

ました。

です。両事業とも、加入者の増

二十一年度黒潮町一般会計

加が見込めない状況にあるの

予算では、労働費の雇用促進相

で、加入金を分割払いにすると

談員の選任の仕方についての

か、無利子の資金の貸付など、

町も財政援助等の措置を講じ、費用の軽減を図ることによって加入を増やす必要があるのではないかと、再度、提言しました。

委員会に付託された議案は、全て可決するものと決しました。

以上が、三月定例議会の議案審査の報告ですが、二月十六日に県道整備について、担当課と幡多土木事務所へ現状説明に行きました。

地元の要望を調査した結果、町内の県道の整備については、担当課でも要望は上げているが、なかなか進捗しないのが現実であり、地域住民の本来の要望が県に十分理解されていない部分もあることが分かりました。今回、土木事務所と協議の結果、新年度になつたら毎年、県の管理箇所を地区長を交えて「見て周り（現地調査）」を行うこととなりました。

産業常任委員会委員長

浜田 純一



幡多土木事務所への要望活動